

對し過クル相談役會於テ會社財政更生問題論議、際現在會
社ノ收入ハ哩需ニ十三或程度ニシテ營業所ノ費用ハ十八或、
多額ニ達シ居レルヲ以テ之ヲ十五或程度ニ切り下クル必要アリ
之カ為メニハ當面月給者ノ賃銀低下、待タサルベカラス而レ
テ近ク停年制ヲ実施ノ準備アルヲ以テ停年四十五歳ヲ五十歳
ニ延長セシメ其レニ代工月給者ノ精勤手當ヲ自發的ニ半減セ
シメテハ如何トノ說アリタルニ起因スルモノト思料セラルト
聞察會見ヲ了セルガ中正會ニアリテハ本件ハ中正會本部ニ於
テ取リ上ケ會社ト交渉スル事トナリ關係者ノ意圖ヲ聽取申
處大体月給者ノ會社が停年制ヲ実施スルニ於テ人就職期間幾
何キ關係上若ニ會社ニ於テ退職手當ノ支給ニ需リ欠勤日
數ヲ控除セスシテ算定スルニ於テハ四十五才ノ停年制實施ニ
亦已ムク得ス然ニガル場合ニ於テハ簡單ニ會社ノ精勤手當半
減ノ要望ニハ應シ難シトノ意圖多數ナルヲ以テ此ノ意圖ニ基

キ會社ト折衝スル事ナリ居レルヲ以テ成行注視中
右及申(通)報候也

別記